



28 議委 第16号

平成28年6月8日

南会津町議会議長 五十嵐 司 様

南会津町議会産業建設委員長 湯田 賢太郎



委員会調査報告書

本委員会に付託された調査事件について、調査の結果を別紙のとおり会議規則第77条の規定により報告します。

1. 調査事件

- ・ 閉会中の継続調査として、平成28年度事業について現地調査

2. 調査の経過

平成28年度中に予定されている事業箇所について、主要な事業を抽出して現地調査を行った。

＊ 実施日 平成28年5月16日、17日

＊ 実施箇所 下記28か所

＊ 出席者

産業建設委員会 湯田賢太郎委員長、森秀一委員、湯田良一委員、湯田哲委員、
星光久委員、事務局：齋藤二郎局長補佐

農 林 課 渡部徹課長、大桃仁課長補佐、室井利和農林土木係長

建 設 課 阿久津弘典課長、星徹也土木係長、星宏明建築営繕係長

環境水道課 野中英昭課長、渡部敏明課長補佐、星善介水道係長

舘岩総合支所 長沼豊支所長、山根博振興課長、阿久津正人課長補佐、
渡辺健二農林建設係長

伊南総合支所 星正信支所長、羽染正巳振興課長、河原田庄佐農林建設係長、
湯田賢史企画観光係長

南郷総合支所 馬場宗一支所長、室井竜典振興課長、野中昭一課長補佐

3. 調査の結果、意見

5月16日（月）

1) 田島 寺前地区（建設課） 町営住宅寺前団地

木造平屋建て建設 N=1棟

- 寺前団地は、1棟4世帯入居で7棟の団地でしたが、築約50年が経過し老朽化したことから、1棟2世帯入居で6棟の団地に建替えるものです。

平成26・27年度で3棟を建替えましたが、今年度は1棟を建替えます。今後は2棟の建替えと敷地内整備を実施し、平成30年度の完了を予定しています。

- 旧棟の入居者には、新棟への入居を優先し、家賃についても6年間の傾斜料金にするなど配慮がありました。

2) 田島 水無地区（環境水道課） 田部長野簡易水道事業

水源地機械・電気設備 N=1式

- 給水区域への配水を容易にするため、配水池を上部へ増設し配水池までの配管を整備します。また、配水池への圧送ポンプや給水区域への配水ポンプを整備します。

- 田部・長野の両給水区域統合による施設管理費の軽減と長野区域へのバイパス管路の新設による配水調整の円滑化が容易に図られると思います。

3) 田島 田部地区（建設課） 町道田島・田部線拡幅工事

測量設計 L=480m

- 馬場公園から田部集会所までは1車線の道路ですが、ほ場整備の非農用地として用地を確保し、1～2mの拡幅工事により2車線の道路に整備します。

- 田島地区から馬場公園までは2車線に整備されており、本区間を整備することにより、田部集落まで安全で円滑な走行環境が期待できます。

4) 田島 行司地区(環境水道課) 水道配水設備拡張事業

配水管布設 $L = 120\text{ m}$

- 区画整理区域内への拡張整備であり、住宅建築を想定した先行投資の工事です。道路両側に水道管と下水管を分けて布設しますが、下水管は完了しています。
- すでに完了した区域は住宅建築が進められており、上下水道管の先行整備によって、それぞれの事業に対する効果の早期発現が図られると思います。

5) 田島 新町地区(環境水道課) 公共下水道事業

下水管理設等 $L = 140\text{ m}$

- 歩道内に下水管を埋設する工事ですが、一部逆勾配のため設置深度の都合によりポンプを設置します。本来は道路の両側埋設となりますが、利用戸数と道路事情に配慮して片側埋設で施工します。
- 埋設されない側には、国道下に引込管をそれぞれに埋設し、その先に公共枡を設置することから、利用者負担の均衡は図られると思います。

6) 田島 中荒井地区(環境水道課) 荒海簡易水道事業

送配水管布設替 $L = 300\text{ m} \times 2\text{ 条}$

- 老朽管による漏水箇所は古今～中荒井間と永田～中荒井間にあり、今年度は補助金が減額されたことにより、どちらか一方を実施することになります。
- 漏水の解消は、利用者への安定供給と管理経費の軽減に繋がるものであり、現地事情による優先順序を把握し、早期完了に期待します。

7) 田島 中荒井地区(建設課) 町道永田・藤生線災害復旧工事

大型ブロック工 $L = 47\text{ m}$

- 被災原因は、荒海川のカーブ箇所で濁流が直接ぶつかり、ブロック根元が洗われ流失したことにより崩落したものです。
- 土が固まらない土質で難工事であったと聞きましたが、6月末の工期に対し5月中の開通には、請負事業者の努力を感じました。

8) 田島 高野地区(環境水道課) 水道配水設備拡張事業

配水管布設 $L = 60\text{ m}$ 、橋梁添架管 $L = 70\text{ m}$

- 田島地域の上水道は、永田第1、田島ダム第2、金井沢第3の3つの水源からなっており、第1と第2の交差箇所は高野橋です。近くには南会津病院があり、災害時の給水は重要な課題になっています。解消のため高野ダムからの給水を円滑に行うため老朽化した高野橋に添架されている水管橋を付け替え、合わせて仕切弁の設置を行います。
- 病院など水を必要とする公共施設は特に考慮すべきと考えます。町は十分把握していると思いますが、今後もこれらの施設の安定供給を期待します。

9) 田島 金井沢地区(農林課) 石田地区 災害復旧工事

農地復旧 土砂撤去 $A = 5.72\text{ ha}$

- 桧沢川から流入した土砂の撤去作業ですが、水稻の作付けには間に合わなかったため、転作で対応することになっています。
- 今後、桧沢川の河川改修が進められますが、同地区は河川の拡幅が計画されており、用地買収等の確定に合わせた作目の決定や作業計画が必要と考えます。

10) 田島 針生地区（農林課） 琴平山地区 災害復旧工事

農地復旧 $A = 0.41 \text{ ha}$ 水路工 $L = 66.1 \text{ m}$

- 法面の崩落による災害ですが、下部は水路が土砂により埋没、上部は畦畔と一部水田が欠落した状況です。水路はU字溝上部にフトン籠3段を設置し、その上部に土羽を盛り水田の欠落部を補充して復旧します。
- 水田内に被災箇所を遮断する仮畦畔が設置されており、被災部分を除き水稻の作付けは可能となっていました。

11) 南郷 下山地区（環境水道課） 南郷簡易水道事業

橋梁添架管 $L = 150 \text{ m}$

- 和泉田地区へ下山水源からの配水を可能にするため、使用不能になっている下山橋へ添架されている水管橋を付け替えるものです。
- 現在供給されている小野島水源からの配水は地域住民の苦情があり、良質な下山水源からの配水は地域住民の望むところです。

12) 南郷 界地区（環境水道課） 南郷簡易水道事業

配水管布設替 $L = 1200 \text{ m}$

- 老朽化した石綿管の布設替えですが、補助金の減額もあったことから、昨年度施工区間の舗装復旧を優先し、引き続き実施します。
- 布設替えによる漏水の防止は、下流給水区域への円滑な配水と管理経費の軽減に繋がります。

13) 南郷 宮床地区（農林課） 宮床堰県営災害復旧工事

頭首工 $L = 29.0 \text{ m}$

- 頭首工からの通水路が欠落しており、ブロックによる護岸と通水路の復旧を行います。河川内へ重機やダンプ等の搬入が必要であり、仮設費が高額となり5,000万円を超過したため県の代行事業で実施します。
- 発注済であり、仮設の水路により流域の耕作に支障はないが、鮎釣り期間は工事ができないため秋以降に着手し、次年度耕作に間に合わせます。

14) 南郷 台板橋地区（農林課） 県営中山間地域総合整備事業

台板橋地区ほ場整備工事 $A = 5.9 \text{ ha}$

- 4畝区画の水田であったが、昨年区画整理工が施工され、2反区画に整備されました。今年は一時的利用地の指定が行われ全面積に水稻が作付けされます。
- ほ場整備はトマト栽培を前提にしており、トマト栽培の担い手農家が育成されることを期待します。

15) 南郷 大橋地区（農林課） 大橋堰県営災害復旧工事

頭首工 $L = 59.8 \text{ m}$

- 木工沈床が数ヶ所破損しており、受益面積38haの取水のため原形復旧します。川幅が広く二段の仮締め切りが必要であり、仮設工事に経費が嵩み工事費が5,000万円を超過したため県の代行事業で実施します。
- 発注済であり、仮締め切りによる取水で耕作に支障はないが、鮎釣り期間は工事ができないため秋以降に着手し、次年度耕作に間に合わせます。

16) 南郷 木伏地区（環境水道課） 特定環境保全公共下水道事業

下水管埋設等 $L = 180\text{ m}$

- 今年度の施工区域は国道の西側区域ですが、本管より低い区域のため同区域内を結ぶ下水管を埋設し、最終箇所からポンプで本管に圧送します。
- 本地区は計画区域の最上流部に位置しており、今後3年で完了となる。南郷橋の進捗に合わせ、残る大橋地区の実施に向けた検討を期待します。

17) 伊南 古町地区（伊南支所） 伊南クロスカントリースキーコース建設工事

コース整備 $L = 766.2\text{ m}$

- 昨年に引き続くコース整備で3,000m級のコースが完成する。完成後は2.5km、3.0km、3.3kmのコースで全日本スキー連盟の公認を取得したい。
- オフシーズンはジョキングコースとしての活用が予定されており、各種大会や合宿等、年間を通した誘客は地域の活性化に期待できると考えます。

18) 伊南 耻風地区（農林課） 耻風地区災害復旧工事

農地復旧、土砂・立木撤去 $A = 2.2\text{ ha}$

- 受益4haのうち2haが土砂と流木で被災しました。工事費は18,792千円ですが、うち流木撤去が10,000千円です。今年度はソバの転作を予定しています。
- 流木撤去が高額に感じましたが、石の食い込んだ流木の産廃処理費が要因でした。

5月17日（火）

19) 館岩 新田原地区（農林課） 林道矢竹阿多根線災害復旧工事

林道復旧工 $L = 160\text{ m}$

- 被災地は、館岩川がカーブして接する場所ですが、増水により擁壁の根元が洗われて一部決壊し、冠水により舗装道路が洗掘されたものです。
- 当林道は、さらに数か所被災しており、入り口が完了しないと先には進めず、全線開通は先の事と思われます。

20) 館岩 伊与戸地区（農林課） 伊与戸地区災害復旧工事

農地復旧 土砂撤去 $A = 2.0\text{ ha}$

- 館岩川の氾濫で流入した1,447 m³の土砂を撤去しますが、並行して河川の改修工事も実施されるため、買収線の確定後に着手します。
- 同地区内の取水・排水施設も被災していましたが、仮復旧により同区域内の未被災水田は作付けできます。

21) 館岩 森戸地区（農林課） 中堰災害復旧工事

頭首工 $L = 12.0\text{ m}$

- 保城川に設置されている頭首工の底部が洗掘され崩れた状態になっています。水処理の都合により右岸、左岸に分けて復旧工事を実施します。
- 仮設により上流部からの取水は十分できるため、耕作には支障ありません。

22) 館岩 大久保地区（館岩支所） メガソーラー発電施設

出力11MW

- 区域面積約41haにパネル46,000枚を設置する予定ですが、なるべく現況のままでパネルを設置し、森林伐採は1ha以内にとどめる計画です。積雪量やパネルの状況確認の

ため監視カメラを設置しましたが、浅雪のため参考になりませんでした。

- 杭打ち方式により、手前2m、後方3mの高さに設置されるとのことですが、パネルからの落雪処理が計算に入っているのか、疑問を感じました。

23) 館岩 八総地区(建設課) 中山沢河川災害復旧工事

積ブロック工 L=375m

- 両岸が決壊していますが、一部残ったブロックは利用し積ブロックで復旧します。なお、山林と接する区域は工事に入っていません。
- 隣接する被災水田は、会津若松市からの通勤耕作者と聞きました。今年は休耕しますが、小規模不整形水田であり通勤耕作には熱意を感じました。

24) 田島 滝原地区(建設課) 鎌越沢災害復旧工事

積ブロック工 L=32.0m

- ブロック積みが倒壊したことによる復旧ですが、被災前と同じブロック積みによる復旧工事です。被災水位まで積み上げるため、原状より高くなります。
- 災害復旧は原形復旧が原則ですが、水位高までの復旧は理に叶っています。

25) 田島 滝原地区(農林課) 神田第1堰水路橋災害復旧工事

水路橋 L=29.0m

- 水路橋のピンヤが流失したことによる復旧です。金属水路橋そのものは流失していませんので既設利用になります。
- 今年度の耕作は休耕と聞きましたが、受益地3~4町歩のうち最近の実質耕作面積は3反だけということでした。課題は耕作放棄地の解消と考えます。

26) 田島 糸沢地区(農林課) 龍伏地区県営災害復旧工事

頭首工 L=27.6m

- 木工沈床30メートルが流失しました。根固めブロックで復旧しますが、今まで天端を車が通っていたため、平らに仕上げて車が通れるようにします。
- 水が流れる天端を車が通るのは不自然と思って聞いたところ、川幅が広く水深が浅いからということでした。受益14haは仮復旧で耕作可能です。

27) 田島 藤生地区(農林課) 小塩下堰災害復旧工事

水路工 L=48.0m

- 小塩下堰から取水し、町道川島・藤生線の擁壁に並行する用水路ですが、同町道の崩落により用水路が閉塞し被災したものです。町道復旧が前提であり、町道復旧の進捗に合わせて施工します。
- 受益19haは仮設により耕作は可能ですが、内9haはポンプアップにより取水しているため早期の復旧が求められています。

28) 田島 藤生地区(建設課) 町道川島・藤生線災害復旧工事

補強土壁工 L=40.0m

- 本路線は荒海川と並行し、河川断面を狭くしないよう擁壁により路肩を整備した道路です。被災状況は、擁壁の倒壊、路体の流失ですが、ブロック積で擁壁を整備し、補強盛土工法によって復旧します。
- 町道としての機能回復と小塩下堰災害復旧の同時施工であり、早期復旧が求められて

います。

4. 総評

災害復旧箇所については、豪雨災害の被害のすごさが改めて感じられましたが、復旧工事が全力で進められている様子を見て心強い限りでした。しかしながら、今後発注予定の分を含め工事個所の多さから、施工業者の能力の限界が心配され今後の災害復旧の進捗に不安を抱きました。今年の農作物の生産に支障をきたし減収になることは明白で、被災された農家の皆様にお見舞い申し上げるとともに、一日も早く復興が図られるよう期待します。

水道事業について、水道水や生活排水対策は人間の生活にもっとも重要なことであり、今後も安心安全に利用できるよう努力してほしいと思います。

伊南地域のクロスカントリースキーコースについて、かつて長野地区ではクロスカントリー大会が行われていましたが、一冬に1日だけの大会でした。シーズンを通して大会やイベントを計画し、常にコースが利用されている姿を見られることを期待します。それには、宣伝活動、トイレ、食事、宿泊施設等の充実を図らなければなりません。

各事業担当者の皆さんには今後とも健康に留意され、明るく住みよい安心安全な南会津町の創造に尽力していただくようお願いします。